

基本評価シート

様式

北海道 檜山・厚沢部区域

(北海道檜山振興局保健環境部環境生活課)

基本評価シート（ニホンジカ）

1. 事業の基本情報

事業名（※1）	令和4年度北海道指定管理鳥獣捕獲等事業実施計画（ニホンジカ）		
	令和4年度（2022年度）エゾシカ指定管理鳥獣捕獲等事業委託業務（厚沢部町太鼓山地域）		
都道府県名	北海道	担当者部・係名	檜山振興局保健環境部環境生活課自然環境係
担当者名	安井自然環境係長	担当者連絡先	0139-52-6494
捕獲実施事業者	北海道猟友会・構研エンジニアリング受託コンソーシアム（認定を受けている）	予算額（※2）	169,545,000円
		予算額の内捕獲に要する経費（※3）	68,729,000円

（※1） 交付金を用いて実施した事業名を記入。複数ある場合は、事業件名ごとに記入。

（※2） 予算額は、交付金の対象となる指定管理鳥獣捕獲等事業の全体予算を記入する。

（※3） 予算額の内、捕獲に要する経費は、平成28年度から適用される交付金所要額調書様式1-2「2 指定管理鳥獣の捕獲等」の内訳を記入。その他にも、捕獲に要する経費がある場合は、別途加算する。

○令和4年度における生息等の状況及びこれまでの個体群管理の取組み

〈指定管理鳥獣捕獲等事業の実績〉

事業目標 （目標頭数などの数値目標）	実施結果	
	捕獲頭数	目標達成率
20頭	9頭	45%

〈生息等の状況及びその他の捕獲実績〉

推定生息頭数	特定計画管理目標	目標生息頭数
69万頭※ （個体数指数：東部 124、北部 113、中部 163、南部 358）	東部：R8末に個体数指数 50 以下（H23を100） 北部・中部：R13末に個体数指数 50 以下（H23を100） 南部：R8末までに減少に転じさせる	設定していない
狩猟捕獲数	許可捕獲（有害）	許可捕獲（個体数調整）
34,118頭（R3）	29,806頭（R3）	77,437頭（R3）

※令和3年度推定生息頭数。東部（オホーツク、十勝、釧路、根室）、北部地域（空知、上川、留萌、宗谷）、中部地域（石狩、胆振、日高）の合計。南部地域（後志、渡島、檜山）は、これとは別に3～15万頭の間と推定

○これまでの個体群管理の取組み（都道府県単独事業）

H9以降、道が策定した「エゾシカ保護管理計画」（H27以降「エゾシカ管理計画」）に基づき、狩猟期間の延長や可猟区域の拡大、雌ジカ捕獲制限の緩和、一斉捕獲の実施、モニタリングに基づく個体数指数を用いたフィードバック管理の推進等の対策を進めてきた。

2. 令和4年度指定管理鳥獣捕獲等事業の実施概要

項目	概要
事業背景・目的	<p>第二種特定計画である「北海道エゾシカ管理計画」において、指定管理鳥獣捕獲等事業について「エゾシカによる農林業及び生活環境に係る被害、生物多様性への影響等が深刻又は懸念される地域においては、指定管理鳥獣捕獲等事業による捕獲を必要に応じて計画的に実施する」としている。</p> <p>これに基づき、鳥獣保護区や自然公園など、市町村等による捕獲が困難な地域等でエゾシカの捕獲を実施する。</p> <p>【選択欄】</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 特定計画の管理目標に不足する捕獲数を高密度地域で上乘せした。</p> <p><input type="checkbox"/> 分布拡大防止を目的として生息域の外縁で捕獲を実施した。</p> <p><input type="checkbox"/> 効果的な捕獲手法の開発を行なった。</p> <p>※事業実施目的に最も近いものを1つ選択。</p>
人材育成の観点	<input checked="" type="checkbox"/> 人材を育成するための配慮、取組がなされている。
実施期間	令和4年12月15日～令和5年3月17日（※委託期間）
実施区域	<p>厚沢部町太鼓山地区 厚沢部鳥獣保護区</p> <p>近年、農林業被害や交通事故等が増加傾向にあり、特に当該地域は主な越冬地のひとつになっているため、年々個体数が増加している模様。</p> <p>※1：実施区域の特徴も記入 ※2：事業計画の地図がある場合は、図面を添付</p>
関係機関との協力	<ul style="list-style-type: none"> 環境省北海道地方環境事務所、釧路自然環境事務所：希少種等の情報提供や捕獲事業の情報共有を図る 林野庁北海道森林管理局：国有林内で実施する際の入林等手続き及び捕獲事業の情報共有を図る （地独）北海道立総合研究機構：捕獲手法や分析等の助言など効果的な事業実施に向けた連携を図る 地元市町村等：地域住民への連絡周知や地元関係機関との調整、捕獲事業の情報共有を図る
事業の捕獲目標	<p>（ 45%達成） ＝（ 9実績値）／（ 20目標値）</p>
捕獲手法	<p>【銃猟】</p> <p><input type="checkbox"/> 誘引狙撃 <input type="checkbox"/> 巻き狩り <input type="checkbox"/> 忍び猟</p> <p><input type="checkbox"/> モバイルカリング <input type="checkbox"/> 夜間銃猟</p> <p><input type="checkbox"/> その他（ ）</p> <p>【わな猟】</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> くくりわな <input type="checkbox"/> 箱わな <input checked="" type="checkbox"/> 囲いわな</p> <p><input type="checkbox"/> その他（ ）</p> <p>※1：各種猟法の定義は○ページ参照、※2：複数チェック可</p>
捕獲個体の確認方法	<p><input checked="" type="checkbox"/> 個体の身体の一部（耳、尾など）</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 写真（証拠写真は、捕獲者・捕獲個体・捕獲情報を記載したホワイトボード等を撮影することとし、またGPS機能付きのカメラ（スマートフォンを含む）で撮影し、データも併せて添付する。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> その他（処分場の処理票）</p> <p>※複数チェック可。</p>
捕獲個体の処分	<p>捕獲個体の処分について</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 全て焼却又は埋設を行っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 全て食肉等への活用を行っている（一時飼養施設への搬送）。</p> <p><input type="checkbox"/> 一部、放置を認めている。</p> <p>※複数チェック可</p>

<p>環境への影響への配慮</p>	<p>わなによる錯誤捕獲について <input checked="" type="checkbox"/> 錯誤捕獲の情報を収集している。 <input type="checkbox"/> 錯誤捕獲の実態は不明である。</p> <p>わなによる錯誤捕獲の未然防止について <input checked="" type="checkbox"/> 錯誤捕獲の防止対策をしている。 (内容：くくりわなは原則として毎日見回りをを行うこととした。錯誤捕獲があった場合には速やかに対応することとした。) <input type="checkbox"/> 錯誤捕獲の防止対策はしていない。</p> <p>鳥類の鉛中毒等について <input checked="" type="checkbox"/> 鳥類の鉛中毒症例がない。 <input type="checkbox"/> 鳥類の鉛中毒症例が確認されている。</p> <p>鉛製銃弾について <input type="checkbox"/> 全て鉛製銃弾を使用している。 <input type="checkbox"/> 一部、非鉛製銃弾を使用している。 <input type="checkbox"/> 全て非鉛製銃弾を使用している。 ○銃の使用はしていない。</p>
<p>安全管理の体制</p>	<p>捕獲実施に先立ち受託者が作成する「捕獲作業計画」において、緊急連絡体制図や周辺住民等に対する周知方法、事故防止に向けた捕獲時の現地立ち入り規制方法等を記載させた。</p> <p>地元関係者からなる地域における調整会議を開催し、捕獲場所、実施期間、捕獲手法等について協議を行った。</p> <p>児童保護者へのチラシ配付、太鼓山への出入り口となる林道・登山道へ立入規制ロープの設置、立て看板設置、わな周辺での注意喚起用看板設置により事業の周知を図った。</p> <p>捕獲事業の従事者又は事前調査で事業実施地域に入る者に腕章を着用させ、捕獲事業者等であることを明確にした。</p> <p>労働安全衛生法等関係法令に基づく措置を講じた。特に、本業務は冬期間に実施することから、事前に天候等の情報を入手し、移動時も含めて事故等の無いよう十分な装備と計画のもと実施させた。</p>
<p>捕獲従事者の体制</p>	<p>【雇用体制】 捕獲従事者数：17人 捕獲作業補助者数：11人 (内訳) 正規雇用者：11人、期間雇用者： 人 日当制：6人</p>

3. 令和4年度指定管理鳥獣捕獲等事業の評価

○指定管理鳥獣捕獲等事業の達成状況の評価について

1. 捕獲に関する評価及び改善点※	
【目標達成】	評価：目標頭数の20頭に対し9頭の捕獲と目標には達しなかったが、太鼓山地域での捕獲事業で過去最高の捕獲数となった。
	改善点：シカの生息状況調査を継続的に実施し、データの積み重ねと分析が必要。
【実施期間】	評価：委託期間を令和4年12月15日～令和5年3月17日とし、契約締結後直ちに餌による誘引を開始し、捕獲に結びつけた。短期間で効率的に実績を上げることができ、実施期間は適正であった。
	改善点：シカの動向に合った実施期間の確保に努める。
【実施区域】	評価：生息密度が低いことから、一度捕獲に成功すると、新たな群れの誘引を期待できないため、捕獲実施区域を広く設定し、予め複数の候補地を設定した。生息状況調査と誘引餌に対する反応を基に、捕獲区域を設定し、細かに設置位置を変更することで、確実に捕獲することができた。
	改善点：北海道の他地域と比較し、檜山管内のシカの生息密度は低いと考えられるが、事前の生息状況調査等を通じて、シカ生息密度が高い場所で事業を行うことが必要である。
【捕獲手法】	評価：くくりわなと小型囲いわなによる捕獲を実施した。くくりわなではシカの出現状況に応じて捕獲箇所を機動的に変更し、捕獲につなげることができた。小型囲いわなはシカの警戒心を下げるため、内部の面積を広げたが、わな周辺へのシカ出現が少なく、捕獲に至らなかった。誘引効果の高いことを確認している豆がら以外に、カボチャ、糠を誘引餌として使用したが、誘引効果は確認できなかった。
	改善点：誘引餌として豆がらのみ継続して使用した場合、一部の個体が警戒する可能性があるため、豆がら以外の誘引餌の検証が今後の課題である。
2. 体制整備に関する評価及び改善点	
【実施体制】	評価：捕獲実施に先立ち受託者が作成する「捕獲作業計画」において、実施体制及び緊急連絡体制図を記載させた。実施体制の不備等による問題は生じなかった。
	改善点：特になし
【個体処分】	評価：一般にくくりわなで捕獲された個体は食肉利用に向かないこと、近隣に有効利用が可能な搬入先がないことから捕獲個体は全て焼却処分とした。
	改善点：ペットフード等への有効活用を検討する。
【環境配慮】	評価：くくりわな設置中は原則として毎日見回りを行うほか、自動撮影カメラ

	により随時、錯誤捕獲の確認を行った。国内希少野生動植物種が確認された場合は業務担当員に連絡することとしていたが、該当はなかった。
	改善点：特になし。
【安全管理】	評価：地元の町内会に地域における調整会議に参画してもらい、安全性について確認を行った。学校が近いことから、児童保護者へのチラシ配布、太鼓山への出入り口となる林道・登山道への立入規制ロープの設置、立て看板設置、わな周辺での注意喚起用看板の設置を行い、事故発生防止に努めた。
	改善点：特になし。
3. その他の事項に関する評価及び改善点 特になし。	
4. 全体評価 シカの動きに合わせてくくりわなを移動し、柔軟に対応することができた。 シカの動きに対して柔軟に対応できる捕獲計画を立てることが重要と考えられる。	

※「改善点」の欄には、評価結果を次期の指定管理鳥獣捕獲等事業実施計画にどう反映するか等について記入する。

○第二種特定鳥獣管理計画の目標に対する、本事業の寄与状況について

本事業による生息数の削減効果は限定的と考えられるが、わなによる捕獲が進んでいない地域において、わなの活用の有効性と事前調査の重要性が確認されたことは、今後の効果的な捕獲事業の運用に寄与するものとする。

4. 必須となる記録項目

(1) データの整備状況

ア) 基礎となる記録項目の整備状況

指定管理鳥獣捕獲等事業において整備している情報の項目にチェックをつける。

項目	整備状況	備考
①捕獲数・目撃数・捕獲努力量等の位置情報	<input checked="" type="checkbox"/> 行政区域（都道府県・市町村）ごと <input checked="" type="checkbox"/> 事業区域ごと <input checked="" type="checkbox"/> 5 km メッシュ <input type="checkbox"/> 1 km メッシュ <input type="checkbox"/> 捕獲地点（緯度経度） <input type="checkbox"/> 捕獲等に関する位置を記録していない	
②捕獲数	<input checked="" type="checkbox"/> 捕獲した個体の総数 <input checked="" type="checkbox"/> 雌雄の別 <input checked="" type="checkbox"/> 幼獣・成獣の別	

	<input type="checkbox"/> その他捕獲した個体に関する情報 ()	
③目撃数	<input checked="" type="checkbox"/> 作業の従事者が目撃した個体の総数	
④捕獲努力量	<input checked="" type="checkbox"/> 銃猟：のべ作業人日数※ <input checked="" type="checkbox"/> わな猟：わな稼働日数 (わな稼働日数=わな基数×稼働日数)	

※のべ作業人日：捕獲作業期間中に捕獲に従事した作業人数の合計。事前調査や下見に費やした作業の人日数は除く。

イ) 捕獲に関する概況地図の作成の可否

	作成できる概況図（地図）※についてチェック
捕獲位置の地図	<input checked="" type="checkbox"/> 5 kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 1 kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 地点（緯度経度）地図 <input type="checkbox"/> 捕獲位置の地図を作成できない
CPUE の地図	<input checked="" type="checkbox"/> 5 kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 1 kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 地点（緯度経度）地図 <input type="checkbox"/> CPUE の地図を作成できない
SPUE の地図	<input checked="" type="checkbox"/> 5 kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 1 kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 地点（緯度経度）地図 <input checked="" type="checkbox"/> SPUE の地図を作成できない
概況図を作成する 上での課題	特になし。

※概況図は原則として添付する。添付できない場合は「作成できない」をチェックする。

(2) 実施結果（必須となる記録項目）

ア) 捕獲努力量に関する事項

①銃器による捕獲

外業の人日数総数※1： _____ 人日

事前調査人日数概数※2： _____ 人日

出猟（捕獲作業）人日数： _____ 人日

項目	令和4年 (事業年度の値)	令和3年 (前年度の値)	増減の傾向
捕獲努力量（銃猟） のべ人日数	_____ 人日	_____ 人日	<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少

※1:事前調査人日数概数と出猟（捕獲作業）日数の合計

※2:事前調査人日数概数は、捕獲作業直前の下見・調査を含まない。

②わなによる捕獲

外業の人日数総数※1： _____ 4 5 2 人日

事前調査人日数概数※2： _____ 6 人日

出猟（捕獲作業）人日数： _____ 4 4 6 人日

項目	令和4年 (事業年度の値)	令和3年 (前年度の値)	増減の傾向
捕獲努力量(わな猟) わなの稼働総数(わな基×日数)	1500 基日	1350 基日	<input checked="" type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少

※1:事前調査人日数概数と出猟(捕獲作業)人日数の合計

※2:事前調査人日数概数は、捕獲作業直前の下見・調査を含まない。

イ) 捕獲に関する結果

①銃器による捕獲

項目	令和4年 (事業年度の値)	令和3年 (前年度の値)	増減の傾向
①捕獲数	頭	頭	<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
②目撃数	頭	頭	<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
③雌雄比 (雌捕獲数/全捕獲数)			<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
④幼獣・成獣比 (幼獣数/全捕獲数)			<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少

令和4年度指定管理鳥獣捕獲等事業における捕獲手法別(銃器)の捕獲実績

捕獲手法	捕獲実績	作業人日数※1	CPUE※2	SPUE※3
<input type="checkbox"/> 誘引狙撃	頭	人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> 巻き狩り	頭	人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> 忍び猟	頭	人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> モバイルカリング	頭	人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> 夜間銃猟	頭	人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> その他 ()	頭	人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少

※1:作業日数には捕獲を実施していない誘引期間は含まない。

※2:CPUE=捕獲数/のべ人日数

※3:SPUE=目撃数/のべ人日数

※CPUE、SPUEは前年度の指定管理鳥獣捕獲等事業と比較して、「増加」「減少」をチェックする。

②わなによる捕獲

項目	令和4年 (事業年度の値)	令和3年 (前年度の値)	増減の傾向
① 捕獲数	9頭	5頭	<input checked="" type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
②雌雄比 (雌捕獲数/全捕獲数)	6/9	2/5	<input checked="" type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
③幼獣・成獣比 (幼獣数/全捕獲数)	1/9	0/5	<input checked="" type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少

令和4年度指定管理鳥獣捕獲等事業における捕獲手法別(わな)の捕獲実績

捕獲手法	捕獲実績	わな稼働総数 ^{※1}	CPUE ^{※2}
<input checked="" type="checkbox"/> くくりわな	9頭	1447 基日	0.006 頭 /基日 <input checked="" type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> 箱わな	頭	基日	頭/基日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input checked="" type="checkbox"/> 囲いわな	0頭	64 基日	0.000 頭 /基日 <input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> その他 ()	頭	基日	頭/基日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少

※1:わな稼働総数には捕獲を実施していない誘因期間は含まない。

※2:CPUE=捕獲数/わな稼働日数

※CPUE、SPUE は前年度の指定管理鳥獣捕獲等事業と比較して、「増加」「減少」をチェックする。

エ) 捕獲個体の適切な処理

処理にかかる人工概数: _____ 人・時間

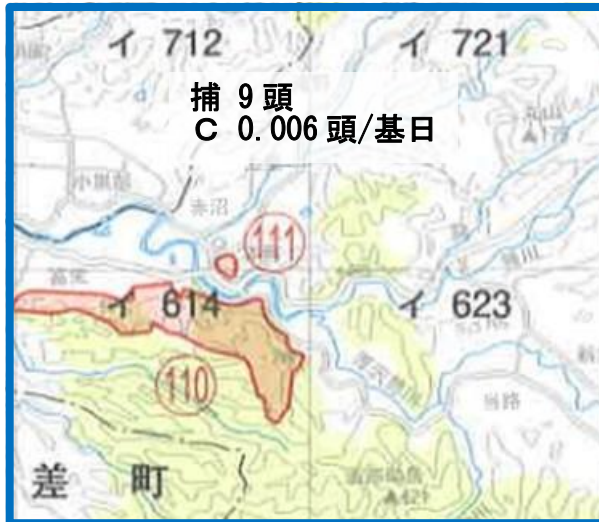
処理した個体のうち、食肉等への活用した個体の数量概数: _____ 0 個体

適正な捕獲が実施されたかを確認する手法

実施日時を作業日報に記載するとともに、捕獲個体毎に捕獲個体記録票を作成し、捕獲情報を記載したホワイトボード等を含めて撮影した写真を添付することとしている。

捕獲した個体の処理については、発注段階から受入予定先を明記し、受託者が有効活用事業者と調整しながら捕獲事業を実施することとしており、納入結果についても報告させている。

基本評価シート4（1）イ）に付随する概況図
（北海道厚沢部町太鼓山地域）

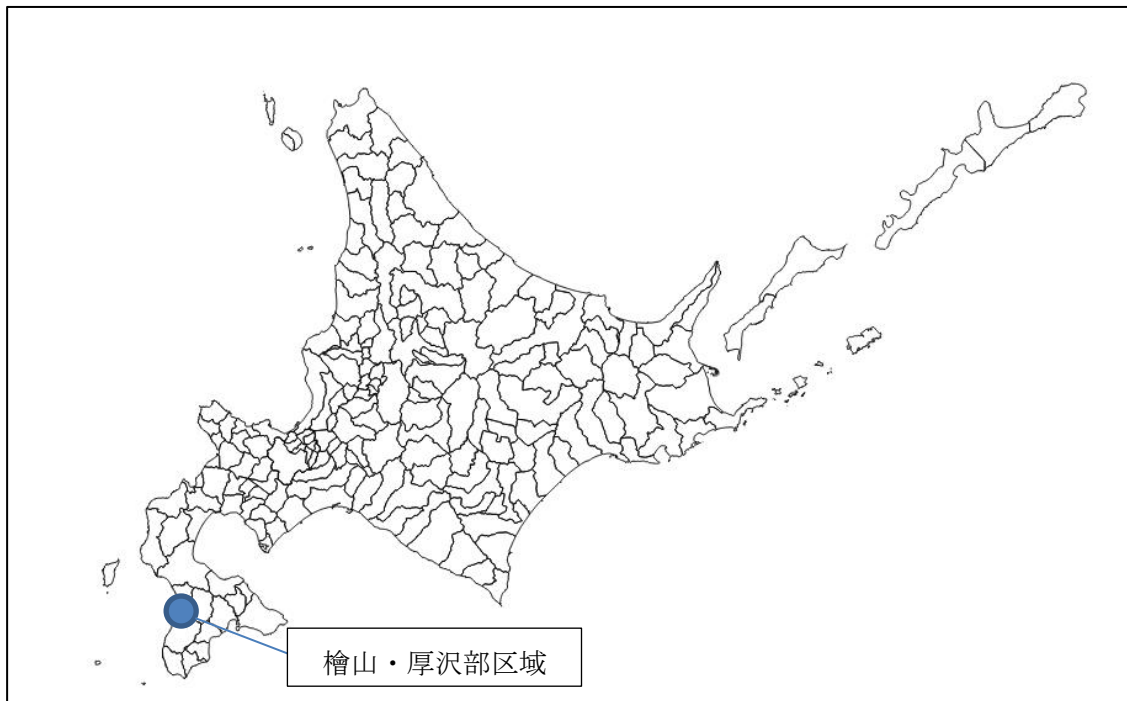


(凡例)
捕：捕獲数
C:CPUE

【メッシュ番号】

イ 6 1 4、イ 6 2 3、イ 7 1 2、イ 7 2 1：わな猟（くくりわな、囲いわな）

北海道指定管理鳥獣捕獲等事業実施計画【檜山・厚沢部区域】
【位置図】



【区域図】

